

中国虚像の大國（商鞅・韓非・毛沢東・林彪の靈言）(2月収録) 担当:石田昭 2019年4月21日

- 1 商鞅：マキャベリは「政治学」の祖、自分は「法学部」の祖(佐賀の乱を起した江藤新平のような)、法律による統治を教えた。前任者を法を利用して追い出す、独裁者の思想と同じ。
- 2 法家思想は法律を神の代わりとする思想。神を切ったカントは末流だ。ス・ボルグを認定。
- 3 共産党のトップは“神々”、人間が神だ。民を統御するのが社会主義の理想だ。今習近平を指導中。HSは中国共産党に勝てない、戦いを避けろ。K氏は呂后（劉邦の妻）だ。
- 4 中国法は国際法、その源流が自分。始皇帝、毛、習らは実戦部隊。毛は始皇帝より上、中国によるグローバリズム化を開始する。大英帝国の中国版ができる。IAによるキャッシュレス、顔面認識システムは民の統制技術だ。名古屋での「毛沢東靈言」講義を中止せよ。
- 5 韓非：商鞅は刑死、自分は違う。自分は習に利用されている。「恐怖感」を体系化すれば「法治主義」になる、西洋型じゃない恐怖政治をしたくて、韓非を学んでいる。韓非がマキャベリと繋がっているとは知らない、ただ中華思想は欧米より古いと言いたいだけ。（ムー文明、その前3万年の古代日本文明の存在を明示する必要がある。そのためにはPT論の打破も重要）
- 6 共産党のガタガタ思想で70年以上も、良くぞ「中共」という王朝が維持できている。
- 7 自分は商鞅よりも学問的で唯物論の間違いも分かる。しかし、両面が必要、日本がもう少し唯物的だったら、あの敗戦は無かった。自分なら無謀なインパール作戦はやらない。
- 8 自分の法家思想とは「実学」「プラグマティズム」のこと。戦う前に富国強兵を実践する。習は意外に日本軍の統治システムを学んでいる。規律を重んじた日本軍は強かったから。
- 9 台湾が親日なのは当然だが、見捨てた日本に腹立ちもある。いま、日米を釘付けにして台湾を防衛させ、手玉にとっている。高い教育を享受できた感謝はあるが、全て日本の善意かどうかは分からない。日本の宣伝のためもあった。植民地の資源を求めたのも確か。
- 10 中国は唯物論を入れて、形骸化宗教から救われ、食べていけるようになったのも確か。
- 11 神様はよくわからない。自分はテクノクラート、政治における人工知能のような存在。韓信や山形有朋の考え方にも近い。宗教が政治の面に出てくるな、と言っているだけで、中国は君らが思うような悪い国ではない。信仰は地下に潜ってやってくれたらしいんだ。
- 12 マルクスの「万国の労働者よ団結せよ」は綺麗事に過ぎないウソ。革命には使いやすい。
- 13 米国留学すると、「日独は悪、連合国は正しかった、だから国連もできた」と教育する。よって日本やドイツを卑屈にする効果がある。「ただし今のトランプが言ってくる難題は聞くな」という踏み絵を踏ませている。日本はある意味で最高に成功した共産主義国だよ。
- 14 中国は日本から何十年か遅れている。唐の時代は進んでいた。（太宗の貞觀政要：経営書）
- 15 韓非の転生は「神皇正統記」の北畠親房、清水幾太郎（最初は左派思想、後に右派転向）対立する両方の視点を持っている。中国本土を日本化する努力が必要だ。日本留学生をエリートにするシステムで「日本化」もできる。日本に救世主が生まれたのなら「日本的なもの」が世界を救う思考になっていく、「東洋のギリシャ」になる使命が日本にはある。
- 16 毛沢東：「毛沢東の靈言」が出てから一万人が「彼は悪いやつだ」と呪詛し始めた。
- 17 ヤイドロン：毛に殺された5千万人の恨みと反対者の恨みを受けて炭の塊になっている。
- 18 林彪：毛沢東はインチキの虚像、中身は全然無い、民を搾取した。I.D.に似てる。中国は一度解体しないとだめ、毛を悪魔だと言ってくれて良かった。孔子と同列の『批林批孔』を指摘くださるのはありがたい。今は孔子学院建設、いい加減な国。今度は浮上したい。
- 19 あとがき：先の大戦の正義を、再度検証が必要。悪の植民地帝国の世界支配は断固阻止。